



## エストニア月間情勢報告

【2025年6月】

在エストニア日本国大使館



### 【6月の注目記事】

#### 内政

- 4日、国会、オタワ条約脱退法案を可決。27日に国連に通知。

#### 外交

- 5～7日、チン・ベトナム首相一行がエストニア訪問。両国外相は、外務省間協力とデジタル変革・経済分野の協力に関する覚書にそれぞれ署名
- 24～25日、ミッハル首相、ペフクル国防相、ツァフクナ外相、GDP比5%の防衛費目標で合意したNATOハーグ首脳会合に出席

#### 経済

- 25日、エストニアの防衛産業企業の売上高、1年間で30%以上増加。

#### SNS

大使館HP : [https://www.ee.emb-japan.go.jp/itprtop\\_ja/index.html](https://www.ee.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html)



中村耕一郎大使インスタグラム : [https://www.instagram.com/amb\\_japan\\_estonia/](https://www.instagram.com/amb_japan_estonia/)

大使館インスタグラム : <https://www.instagram.com/japanembassyestonia/>



大使館フェイスブック : <https://www.facebook.com/share/1Yecpayktp/?mibextid=wwXlfr>

## 1 内政の主な動き

- 4日、国会、身分証明書法改正案を可決。7月から政府アプリ「Eesti app」にて身分証明が可能に。
- 4日、国会、オタワ条約脱退法案を可決。27日に国連に通知。
- 4日、レプス元教育相（中央党）、横領及び詐欺で二審でも有罪判決。
- 11日、女性ジャーナリストのスヴェトラナ・ブルセワ氏、制裁違反及び国家反逆罪で禁固6年の一審判決。ロシア国有 Rossiya Segodnja 社の特派員を務めたほか、プロパガンダ本を出版していた。
- 12日、国会、パコスタ法務・デジタル相の不信任案を否決。野党が、スウェーデン受刑者の受け入れ案や介護施設での強姦事件捜査を理由に提出。
- 12日、国家選挙管理委員会、今秋地方議会選挙でのスマートフォンによる電子投票の導入を見送り。一方、電子投票ではIDカード等に加えてスマートID（アプリ）による本人確認が可能に。
- 17日、国会、競争法改正案を可決。遅延していたEU指令の導入を実現し、違反は軽犯罪手続きで処罰へ。
- 18日、国会、大統領が公布しなかった教会および集会法の改正法案を修正して可決。モスクワ総主教庁とつながりのある当地ロシア正教会の活動を規制する狙い。
- 20日、エストニア・フィンランド間電力ケーブル「Estlink 2」、昨年12月の船の錨による破損の修理を終えて再稼働。
- 27日、オシノフスキー・タリン市長（社民党）、改革党副市長2人の権限を停止。改革党タリン支部が、幼稚園料金を巡る対立から市長の不信任を決め、実業家ソールマー氏を後任に決めた経緯。

## 2 外交・その他対外関係

- 1～7日、国会チベット支援グループのカルセ議員とマラン議員、第9回チベットに関する世界国会議員会議に出席（於：東京）。
- 2日、カリス大統領、NATOハーグ首脳会合において行われたブカレスト9・北欧首脳会合に出席（於：リトアニア）。ルッテ事務総長およびゼレンスキー大統領も出席。
- 5日、ペフクル国防相、NATO国防相会合に出席（於：ブリュッセル）。イタリア国防相と同国防空システム「SAMP/T」の今秋のエストニアへの配備に関する共同発表。
- 5～7日、チン・ベトナム首相、エストニア訪問。ソン外相や科学技術相が同行。ミッハル首相およびフッサル議長とデジタル・経済協力等に関して会談。両国外相は、外務省間協力とデジタル変革・経済分野の協力に関する覚書にそれぞれ署名。ベトナム首相初の当地訪問。
- 5～7日、カリス大統領、モンテネグロを公式訪問。大統領、首相、議長と会談し、同国のEU加盟を支持。

- 10日、アガベキアン・パレスチナ自治政府外交担当国務相、エストニア訪問。ツァフクナ外相と会談。同外相は、恒久的な平和には二国家解決が必要である旨強調。
- 12日、フィット欧州委員会執行副委員長（結束・改革担当）、エストニア訪問。ミッハル首相と防衛やウクライナ支援へのEU予算配分に関して会談。
- 12日、ホウォヴニャ・ポーランド国会下院議長、エストニアを訪問。カリス大統領およびフッサル国会議長と安全保障政策について会談。
- 18日、パコスタ法務・デジタル相とスウェーデン法相、刑務所賃貸協定を締結。スウェーデンが、同国受刑者600人の当地刑務所収容のために年3,060万ユーロ支払うとの報道。
- 19日、北欧・バルト・ポーランドの国内安全保障担当大臣の会合（於：タリン）。ブルナー欧州委員（内務・人の国際移動担当）も出席。
- 20日、フリストドゥリディス・キプロス大統領、エストニア訪問。カリス大統領、ミッハル首相と同国のEU議長国期間の準備や安全保障に関して会談。
- 22日、ロシア非常事態省の軍用輸送機「IL-76」、エストニア領空を侵犯。今年2度目のロシアによる領空侵犯。
- 24～25日、ミッハル首相、ペフクル国防相、ツァフクナ外相、GDP比5%の防衛費目標で合意したNATOハーグ首脳会合に出席。 ツァフクナ外相はトランプ大統領と立ち話を行い、ベラルーシ刑務所に拘留されていたエストニア国民解放につながった米国の外交努力と、米軍のバルト三国駐留に謝意を表明した。
- 26日、ミッハル首相、対露制裁延長等が議題になった欧州理事会会合に出席（於：ブリュッセル）。
- 29～30日、カリス大統領、第4回国連開発資金国際会議に出席（於：スペイン）。グテーレス事務総長、ファイ・セネガル大統領およびシャルマ・ネパール首相と安保理改革に関して協議。

### 3 経済の主な動き

- 4日、Tallinna Sadam社（国有港湾）収賄事件、二審で時効のため元役員らに無罪判決。
- 10日、エストニア中央銀行、経済予測を発表。経済成長は今年1.5%、今後2年間は2～3%。インフレは今年5.4%、今後2年間は約3%。
- 17日、国際競争力ランキング（69か国、スイスIMD）：1位スイス、33位エストニア、35位日本。
- 18日、国会、補正予算案を可決。歳入は2,660万ユーロ分、歳出は3,690万ユーロ分、投資は4,200万ユーロ分それぞれ増加。
- 25日、エストニアの防衛産業企業の売上高、1年間で30%以上増加。2023年の売上高2億9,000万ユーロから今年は5億ユーロに。輸出は1億6,200万ユーロから、3億5,000万ユーロに増加。

● 29日、アフリカ豚熱、ヴィリヤンディ地方の豚農場で感染確認。国内の家畜の感染は2年ぶり。

#### 4 経済関係統計（出典は特に記載がなければ統計庁）

● 5月消費者物価指数（6日）：前年同期比＋4.5%。商品＋1.9%、サービス＋8.8%。

● 4月貿易（9日）：輸出は前年同月比＋3%の16億ユーロ、輸入は＋1%の19億ユーロ。

#### 5 日本関連報道数

	政治	経済	文化	社会	スポーツ	その他	計
現地記者	0	0	1	1	1	0	3
キャリー	0	0	0	1	0	0	1
不明	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	1	2	1	0	4

（注意）以上の記載内容は、エストニア国内の報道をまとめたものであり、当館としてその記載内容に責任を有するものではありません。